

下の方が新しい逆転地層

### 大賀の押被



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	おおがのおしかぶせ
所在地	高梁市川上町仁賀
指定年月日	昭和12年6月15日
解説	大正12年(1923)に発見された「衝上断層」。地殻の横からの圧力により水平地層が波状に曲がり、中生代の地層の上に、それより古い古生代の地層が重なっている。大賀デッケン、大賀衝上ともいわれている。
アクセス方法	JR備中高梁駅から約21.5km / 高梁市川上地方振興局から約4.3km
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	大賀の押被
よみかた	おおがのおしかぶせ
しょざいち (所在地)	高梁市川上町仁賀
していたひ (指定した日)	昭和12年6月15日
せつめい	地層(ちそう)が横(よこ)から圧力(あつりょく)をかけられて波(なみ)のように曲(ま)がり、さらに地層が割(わ)れて、新しい地層の上に、古い地層が重(かさ)なっています。